

株式会社コーワ

■事業

縫製会社の裁断加工体制の構築による
国内回帰が進む縫製・裁断需要獲得計画

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

自動裁断機 TAC-205VN

運送、介護、クリーンなどの業種で
現場での機能性を考慮し品質を向上

【経営理念】

時代のニーズに沿った高品質商品の提供に努める

工場の海外移転などで衰退傾向が続く一方、国内回帰の動きもみられる我が国の繊維産業。創業から10年目に入った株式会社コーワは、学校や企業のユニホームのポロシャツ縫製工場としてユーザーに喜ばれる商品を提供している。時代のニーズに沿った機能性の高い多品種小ロット製品の需要に対応するため、2018年度の補助事業で自動裁断機を導入した。2割以上の年商アップを実現させており、さらなる伸展を目指している。

2012年、岡山市に本社を置くカンコー学生服、そのグループ企業のシーユーピーの協力工場として創業し、ポロシャツの生産を手掛けてきた。当初から、安定した需要があるものの、近年は運送、介護、クリーンなどの業種のユーザーが、より高い機能性、耐久性などを求めるようになった。これに対応するため、発注メーカー側が協力工場に対し、高機能、高品質な商品の短納期での供給を依頼してくるようになり、従来の手作業による裁断では対応できないことから、本補助金にて自動裁断機を導入した。

耐久性、伸縮性、機能性などに応じ
多パーツの縫製で高レベルな生存競争

ポロシャツは創業当初、6パーツ程度の縫製で仕上がっていたが、近年は30パーツほどに細分化され、縫い方も直線から曲線が主流になった。例えば、襟だけでも8パーツも縫い合わせるユニホームもあり、手作業での裁断は時間、品質とも需要に対応できなくなっていた。このため、裁断だけを外注することもあった。また、国内回帰により、業種によって速乾性、吸水性、耐久性、伸縮性、ポケットやペン挿しの取り付け位置といった機能性なども多様化し、材質も綿、ポリエステルなどを巧みに組み合わせたものになった。さらに、色や柄のほか、細かな糸が好まれ、縫製の針も小さくなっている。裏を返せば、従来の製造価格競争から、よりハイレベルな品質での生存競争を強いられるようになったといえる。現在は中国、ミャンマーからの技能実習生10人がオペレーターとして作業しているが、実習生たちの習熟度アップも図っている。



文田彩子 代表取締役

☒ものづくり技術
 ☐革新的サービス


1 自動裁断機

2 縫製した各種ポロシャツ

3 縫製作業

高単価製品を手掛け
年商アップを見据える

自動裁断機の導入により、裁断の内製化が図られ、製造時間の短縮、高品質化が実現し、外注経費が削減した。裁断、縫製、検針までの作業工程時間が、従来の半分程度になり、パーツが均一になったことで、不良品の数も大幅に減った。導入した裁断機を有効に稼働させるため、今後は裁断だけの受注や、より複雑な縫製による高単価な製品を手掛けることを目標にしている。工場長から3年前にトップに就いた文田彩子代表取締役は「裁断と縫製が担えるという優位性が生まれた。受注枚数は同じでも、高度な技術が求められる単価の高い製品を手掛け、全体の売上高をアップさせたい。さまざまな業種で働く人たちの使い勝手を考え、着てよかったと喜んでもらえる商品を手掛けたい」と意気込んでいる。

■Company Data

株式会社コーワ



コーワの本社工場

代表者名：文田彩子
設立年：2012(平成24)年
資本金：1,000千円
従業員数：15名
主たる業種：繊維工業
本社：〒699-0612
出雲市斐川町出西3740-1
電話：0853-72-8991
FAX：0853-25-7475